
善悪問答

観月 あき

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

善悪問答

【Nコード】

N3059V

【作者名】

観月 あき

【あらすじ】

連作短篇です。

多分に毒を含んでいます。

会話形式が中心ですので、苦手な方はお気をつけください。

恐るべき喪失

『これ以上、失うものなどない』

悪魔が言った。

それを聞いた天使は言った。

『あるじゃないか。お前の命が』

「…これって、何かの比喻か？」

「あれ、知らない？ 有名な矛盾の皮肉」
パラドクス・アイロニー

「知らない。聞いたこともない」

「勉強不足。もっと精進するように」

「お前に言われたくない」

「わあ。ごあいさつだね」

「いまさらだろう」

「たしかに。でも、きみも少しは、学んだ方がいいね」

「何を？」

「わかってるくせに」

奴隸生活

『金や名誉といった欲望、人間は生まれつき何かの奴隷だ』

悪魔はそう言った。人間はそれに反駁した。

『そんなことはない』

『だが、すべての人間は死の奴隷だ』

「不思議なものだな」

「なにが？」

「お前も、いつかは死ぬのか」

「そりゃ、まあ、人間だからね」

「殺しても死にそうにない」

「君が相手でも、すなおに殺されるつもりはないけど」

「冗談だ。お前ごときのために、人生を棒に振るつもりはない」

「だいいいけどね」

「？」

「君、気付いてないかもしれないけど、さっきから目が笑ってないよ」

ひとを愛すること

『わたしは誰も愛せない。愛したことがない』

ある人が言った。

それを聞いた人はこう言った。

『何を言っただ。自分を愛しているくせに』

「僕、ナルシスト自己陶醉のひとってどうも嫌いだな」

「自分を嫌ってどうする」

「僕はちがうよ。ナルシストじゃないし」

「自己申告か。信用できないな」

「君、もしかして人間不信？」

「あえて言うならお前不信だ」

「それってダジャレ？」

「は？」

「お前不審だ」

「……もういい。天国なり地獄なり、さっさとどこかに消えてくれ」

天上の真理

天使は嘘をつけない

悪魔は嘘しかつけない

『なんだ』

人間は言った

『それなら、結局同じじゃないか』

「これ、結局、何が言いたいのかな？」

「『人間はひねくれた生き物だ』」

「僕、君ほどひねくれてるつもりはないんだけど」

「人間は天使や悪魔と違って、嘘も真実も両方口にできるからな」

「……………」

「ずっと黙っているつもりなら、肯定したと見なすぞ」

「……………。…実は僕、今まで一度も、嘘をついたことがないんだけど」

「
ダ
ウ
ト
」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3059v/>

善悪問答

2011年11月5日18時15分発行